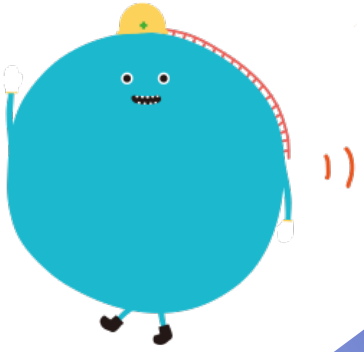
コード:6369

トーヨーカネツ株式会社

会社説明会



2026年10月24日

本日のご説明

1. 現在の姿

会社概要・事業内容・中期経営計画等

2. これまでの姿

事業の実績・強み

3. これからの姿

事業戦略と展望

代表取締役社長　大和田　能史
（おおわだ　たかし）

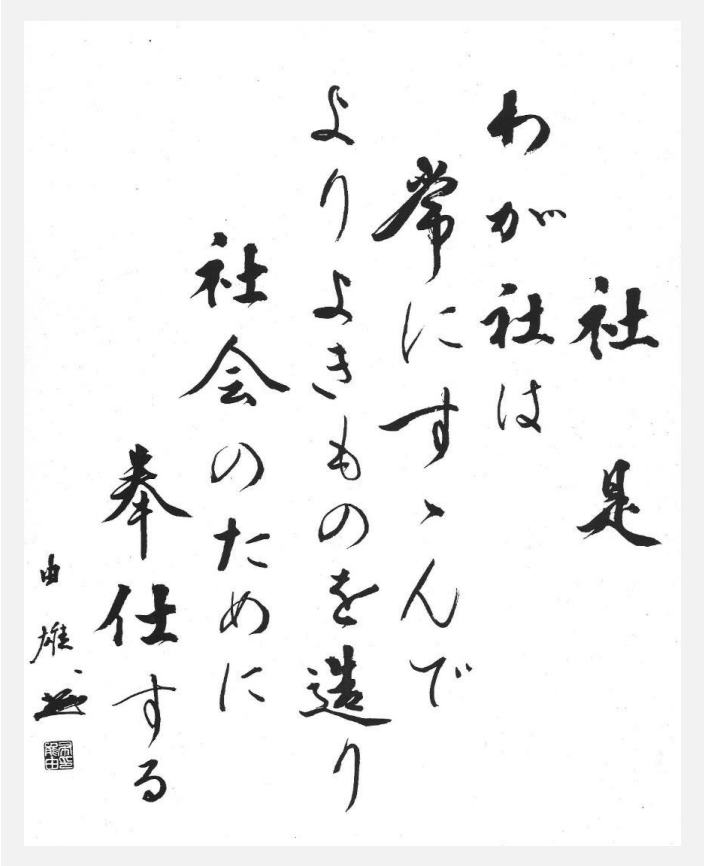
Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

1. 現在の姿

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

創立86年目　東京証券取引所上場66年目

- ●創立　1941年(昭和16年)5月
- ●資本金　18,580百万円
- ●売上高　59,167百万円(連結)
- ●従業員数　631名(単体)
  1,419名(連結)
- ●株式市場　東証プライム
- ●決算期　3月(連結)



※連結子会社　16社(持分法適用会社1社含む)

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

3つの事業

トーヨーカネツ

現在の売上比率は概ね　物流システム6：プラント2：みらい創生2

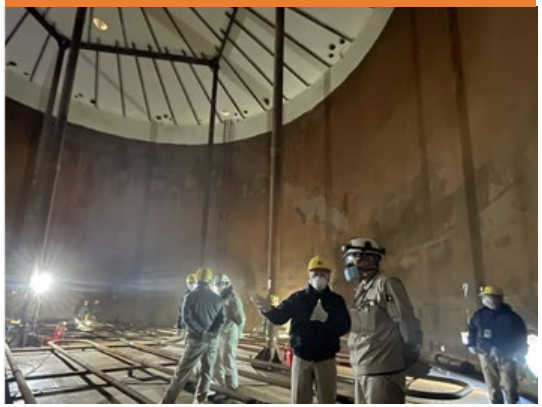
物流システム

物流ソリューション

生協・空港・ネット通販
メーカーなどの
物流システム企画
設計・製作・施工
販売・メンテナンス

タンク

プラント



国内製油所などの
タンクメンテナンス
国内外新設タンク製造

次世代エネルギー開発センター

大型液化水素タンク等の研究開発

新規事業

みらい創生

環境防災
- 環境リサーチ株式会社
- 環境計測株式会社 Eco Analysis Corporation
- 坂田電機株式会社 SAKATA DENKI Co., Ltd.

産業機械
- トーヨーコーケン株式会社
- マックスプル工業株式会社 MAXPULL MACHINERY & ENGINEERING CO., LTD.

建築
- トーヨーカネツビルテック株式会社

アスベスト検査
環境・防災計測機器
保守・製造
産業機械・建築

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トーヨーカネツ

社会課題の解決で未来を支え続ける

社是： わが社は 常にすすんで よりよきものを造り
社会のために奉仕する

経営ビジョン： 革新的な技術と実行力で、社会課題を解決する
「ソリューションイノベーター」

スローガン： ACTION FOR THE FUTURE
期待を超える実行力で、未来を支える力になる

ACTION FOR NEXT LOGISTICS
物流ソリューション
未来の物流システムを
支えるチカラになる

ACTION FOR INFRASTRUCTURE
プラント
社会インフラを
支えるチカラになる

ACTION FOR NEXT ENERGY
次世代エネルギー開発
エネルギーの未来を
支えるチカラになる

ACTION FOR SUSTAINABILITY
みらい創生
サステナブルな社会を
支えるチカラになる

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トーヨーカネツ

社内外の環境変化に対応した新マテリアリティを策定

- 事業を通して社会課題を解決
- ESG投資を積極的に行い持続可能な社会を実現

事業を通じた社会課題解決に資する重要テーマ

① 気候変動・環境問題への対応

プラント
低炭素社会の実現

みらい創生
安全、強靭な生活・防災環境の実現

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
13 気候変動に具体的な対策を

② 労働力不足への対応

物流ソリューション
物流センターの省人化・無人化の実現

8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の競争力強化に資する重要テーマ（事業伸長のための技術）

③ 新技術の開発

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

④ ビジネスパートナーとの共創

17 パートナーシップで目標を達成しよう

⑤ 製品・システムの信頼性向上

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

⑥ 業務生産性の向上

8 働きがいも経済成長も

企業としての経営基盤

⑦ リスクマネジメント・ガバナンスの高度化

11 住み続けられるまちづくりを
16 平和と公正をすべての人に

⑧ 人的資本経営の高度化

5 ジェンダー平等を実現しよう
10 人や国の不平等をなくそう

※マテリアリティ：優先的に取り組むべき重要な経営課題

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

中期経営計画（2025～2027年度）

トーヨーカネツ

今期は過去最高売上、増収増益を計画

	2025年度（実績）	2026年度（予想）	2027年度（予想）
売上高	596億円	650億円	680億円
営業利益（全社費用含む）	35.8億円	40.0億円	43.0億円
ROE	6.5%	7%	8%

※M＆A効果は業績予測から除外

事業収入を積極的に株主還元と成長投資に配分

事業活動による収入
約110億円
（参考）減価償却費 約30億円

必要に応じた資金調達

配当等
50億円以上

成長投資や研究開発等
110億円規模

定常設備投資ほか

株主還元 DOE（株主資本配当率）4.0%以上
*ただし、大規模な資金需要が発生した場合にはこの限りではありません。
今期配当予想105円 ※連結配当性向60.6%

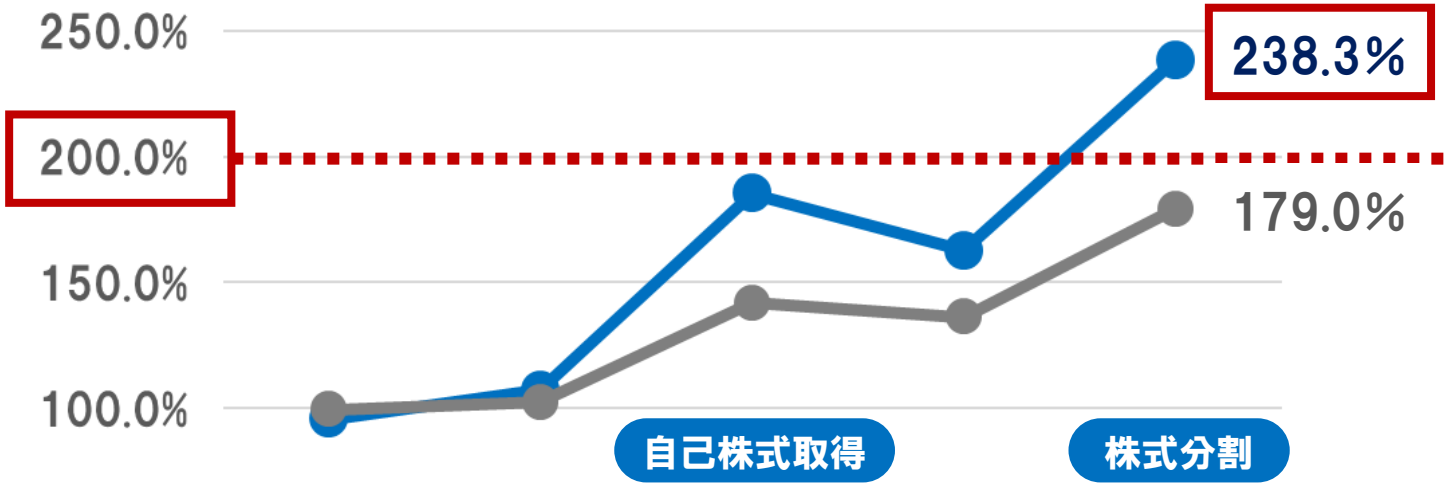
資本政策
自己資本比率50%程度、DEレシオ0.8倍未満

適用期間：本中計期間（2026.3期～2028.3期）

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

株価を意識した経営の主な実績

自己株式取得・消却、株式分割、安定配当などを実施
TSRは、200％超えを達成し、ベンチマークを大きくアウトパフォーム



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
当社TSR	95.7%	107.3%	185.3%	162.7%	238.3%
TOPIX（配当込み）	99.6%	102.5%	141.7%	136.1%	179.0%
1株当たり配当額	72.5円	73.5円	114.5円	118.0円	103.0円
DOE・株主資本配当率	3.3%	3.2%	4.8%	4.8%	4.0%
DPS・配当性向	50.8%	50.1%	50.2%	50.0%	62.6%
株価（期末終値）	1,226.0円	1,311.0円	2,255.0円	1,830.0円	2,753.0円

株価の推移　1,226円（2022.3月末）➡ 2,753円（2026.3月末）

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

2. これまでの姿

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

国内・海外の事業実績（物流・タンク）

トーヨーカネツ

世界中で物流システムのソリューションやタンクを製造

ボイラー製造から始まり1955年に
2事業に経営資源を集約

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

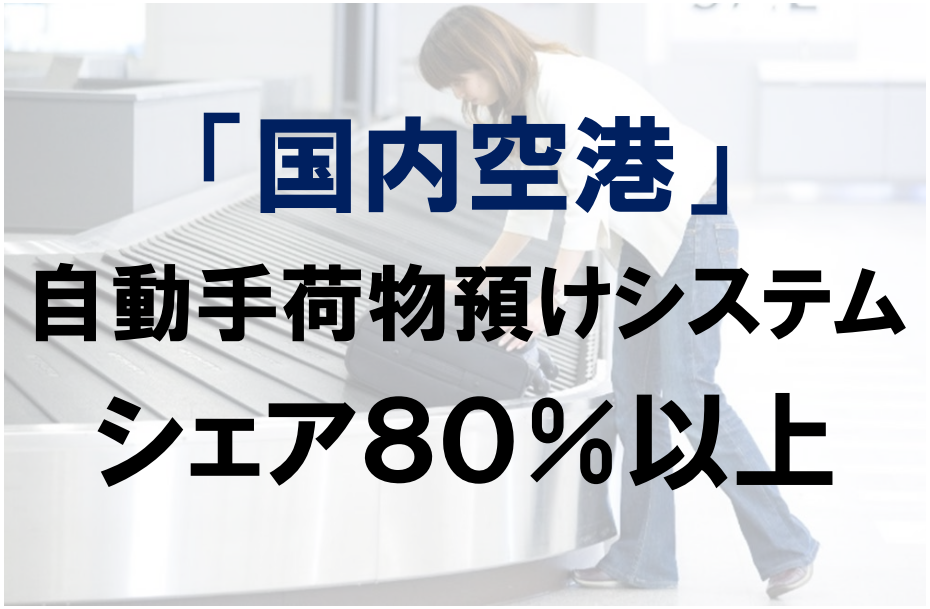
実績　物流ソリューション事業

トーヨーカネツ

「生協」

物流センターシステム

シェア70％以上



「国内空港」

自動手荷物預けシステム

シェア80％以上

「ネット通販」

多品種 大量仕分け

リードタイムの短縮

「製造業」

工場内の部品収納・配送

省人化の実現

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

実績　プラント事業（タンク）

トーヨーカネツ

「世界第2位」

国内外納入実績

5,700基以上

「極低温・大型タンク」

マイナス162℃

23万キロリットル

「タンク再生」

原油・ブタン・プロパン

平底型・球形型各種

「次世代エネルギー研究・開発」

大型液化水素タンク

（マイナス253℃）

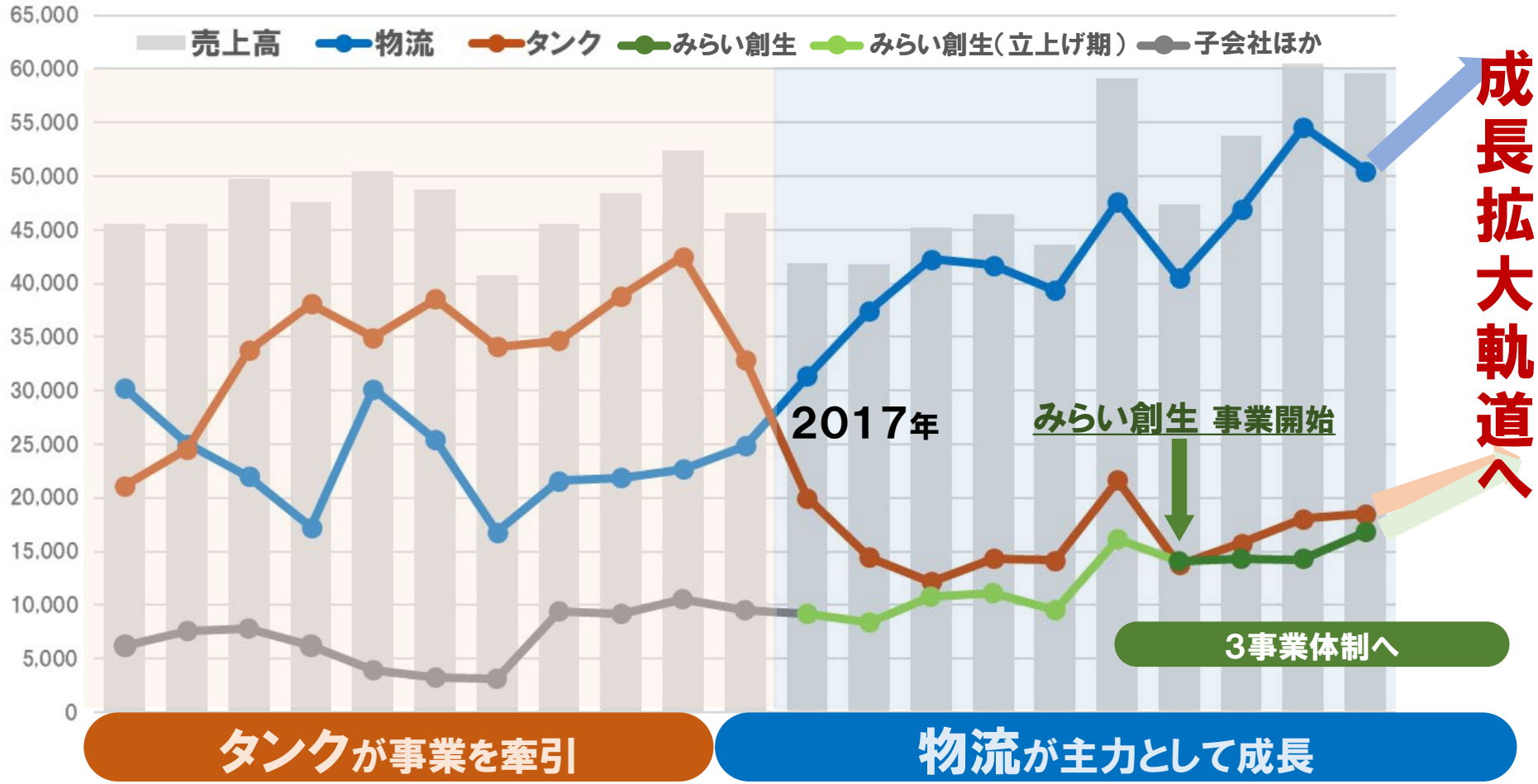
Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

主力事業の変遷

2017年に主力事業がタンク⇒物流へ
“第3の柱”として「みらい創生」事業を立ち上げ

連結売上高20年の推移

単位：百万円



Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

3. これからの姿

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

中長期の市場環境と戦略

2030年を見据えた前中計を引継ぎ「第2フェーズ」に位置付け

創業100周年

目標売上高900億円

2022 第1フェーズ 2025 第2フェーズ 2028 2030

	市場環境	長期戦略
物流ソリューション	物流戦略が経営課題へ 人口減少、自動化ニーズの拡大	事業領域の拡大と ビジネスモデル変革
プラント	メンテナンス需要は安定継続	安定収益確保
次世代エネルギー開発	水素社会の本格的到来は先送り	次世代エネ市場参画
みらい創生	防災庁新設・災害激甚化への対応	環境・防災ビジネスの確立

中計基本方針　未来に向けた成長基盤の確立

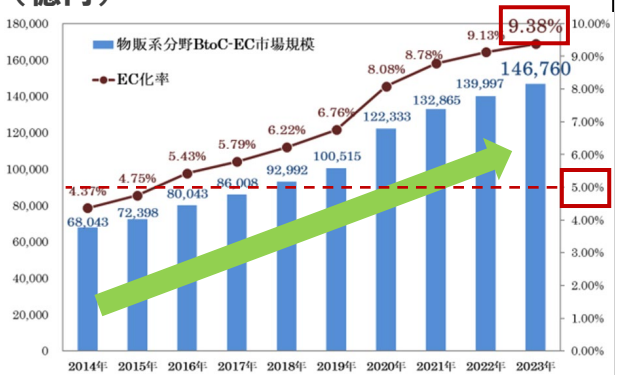
Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

各事業を取り巻く市場データ

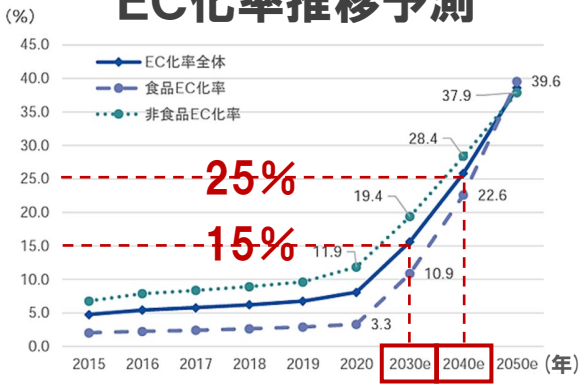
物流ソリューション

物販系通販は物量もEC化率も伸長継続

物販系EC市場・EC化率推



EC化率推移予測

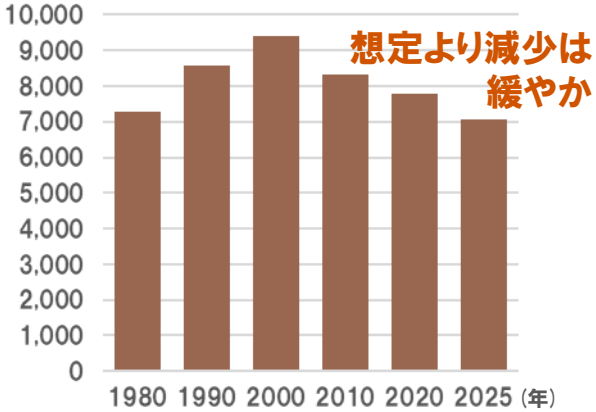


上「電子商取引に関する市場調査」2024年経済産業省
下「家計調査」「わが国におけるデータ駆動型社会にかかる基盤整備」経済産業省より、みずほ銀行産業調査部作成「みずほ産業調査 Vol. 70」

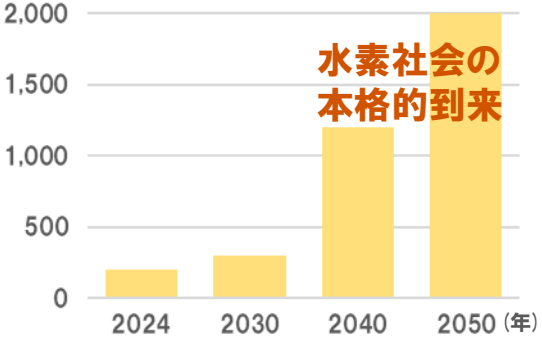
プラント

原油備蓄は依然豊富 今後、水素エネルギーが台頭

国内原油備蓄推移（万KL）



水素エネルギー計画（万トン）

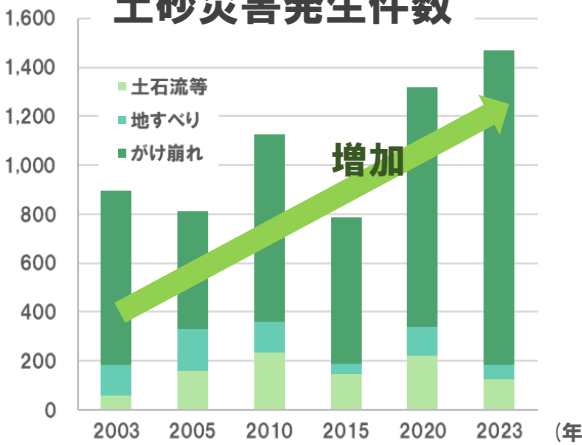


上「資源エネルギー庁 石油備蓄等について」2023年
下「水素を取り巻く国内外情勢と水素政策の現状について」2024年
ともに資源エネルギー庁

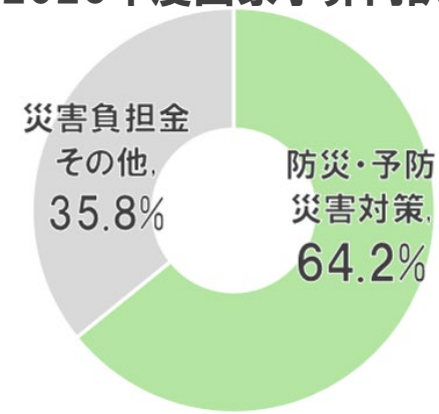
みらい創生

土砂災害も増加傾向 防災庁設置準備室予算内訳

土砂災害発生件数



2026年度国家予算内訳



上「土砂災害発生状況」国土交通省
下「内閣府防災部門(防災庁設置準備室)2026年度予算案」170億円

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

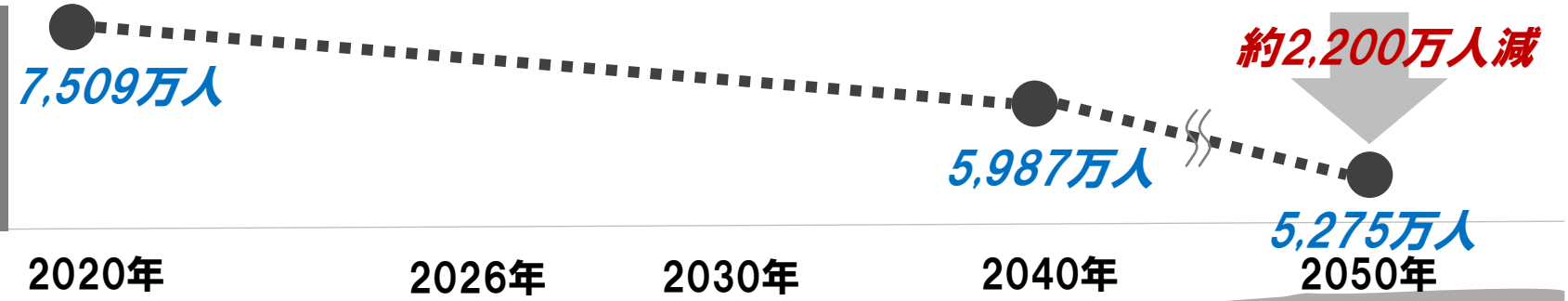
物流ソリューション事業の展望

トーヨーカネツ

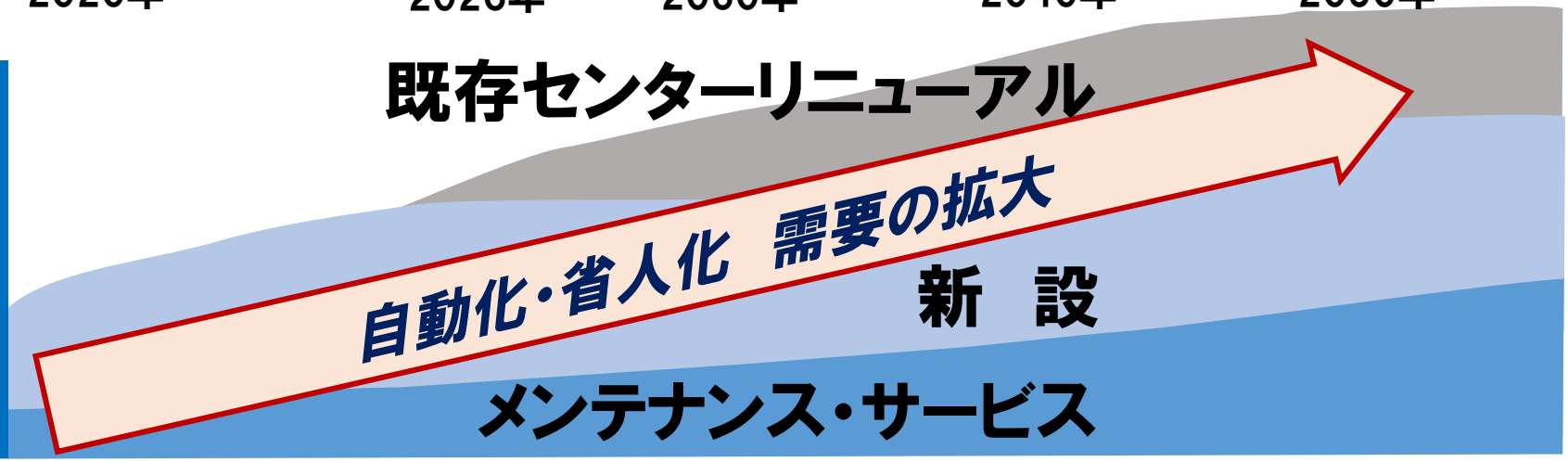
社会課題

労働人口減少 → **無人化ソリューションの実現**

生産年齢人口



事業の需要



戦略

- 多品種・大量仕分 自動搬送
- WMS（倉庫管理システム） 業務領域の拡大
- 物流センター完全無人化 サプライチェーンデータ連携

※出典：総務省「生産年齢人口（15-64才）推計」

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

プラント事業・次世代エネルギー開発センターの展望

トーヨーカネツ

社会課題

エネルギーの低炭素化 → クリーンエネルギー社会の実現

脱炭素

100% → 50% → 0%

2013年 2026年 2030年 2040年 2050年

エネルギーの出現

エネルギーの変化に次々と対応

原油・LNGなど

アンモニア・MCH（メチルシクロヘキサン）：水素キャリアのひとつ。

CO_2タンク

水素タンク

戦略

タンクメンテナンス	既存タンクのメンテナンス		
アンモニア・MCH CO_2（CCS/CCUS）	開発	受注	建　設
大型液化水素	基礎技術	実証実験	建　設

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

みらい創生事業の展望

トーヨーカネツ

社会課題

環境リスク
災害の激甚化

→

生活環境インフラに対する
予知保全・予防

社会情勢

気候変動による災害の甚大化・常態化
安心・安全な生活環境への関心

2017年　2026年　2030年　2050年

事業成長シナリオ

「第3の柱」確立

本格着手 → 環境 → 防災環境

環境＋防災・減災領域M＆A

アスベスト検査・環境調査・分析
（防災・減災・予知保全）

産業機械・建築

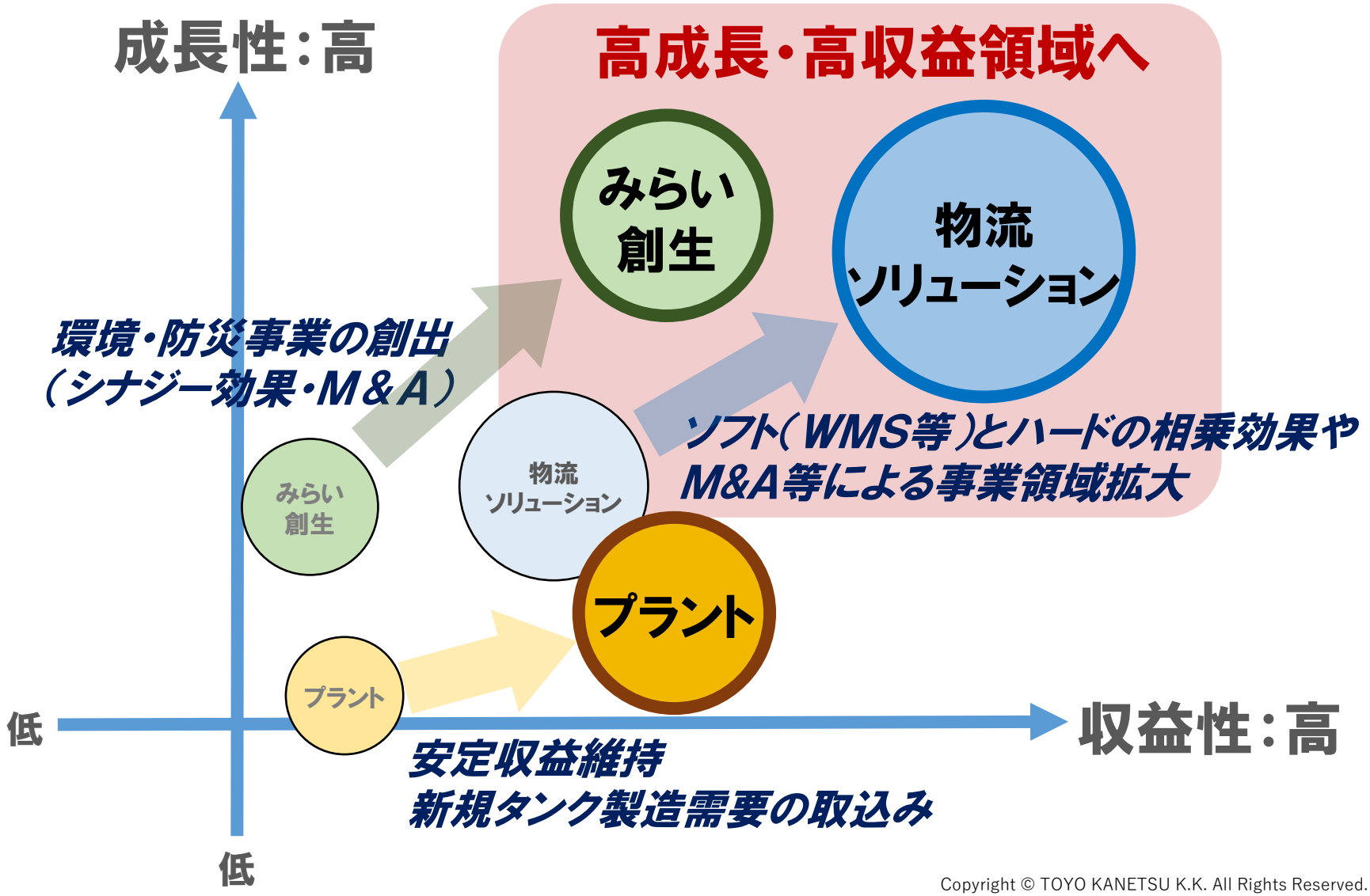
戦略

事業の形成 → シナジー創出（M＆A） → 物流・タンクに並ぶ「第3の柱」へ（成長ポテンシャル維持・拡大）

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

2030年のポートフォリオ変化

2027年に持ち株会社化へ移行し、事業ポートフォリオを強化

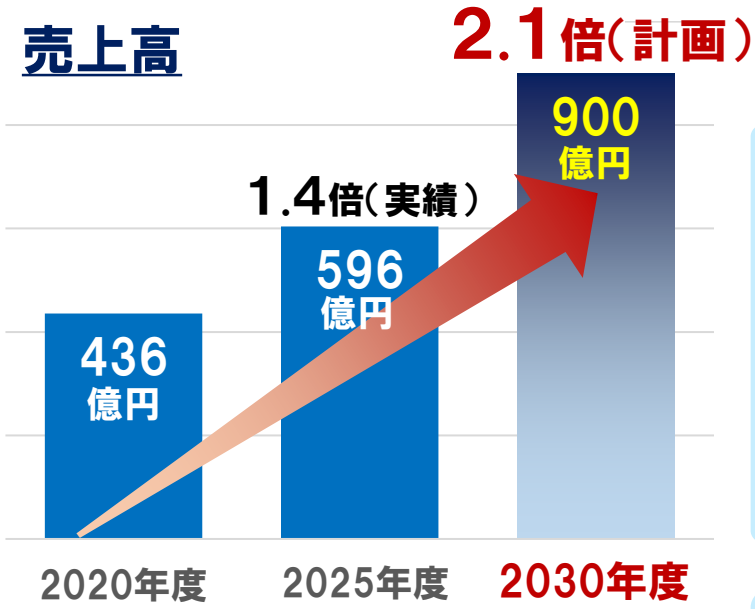


Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

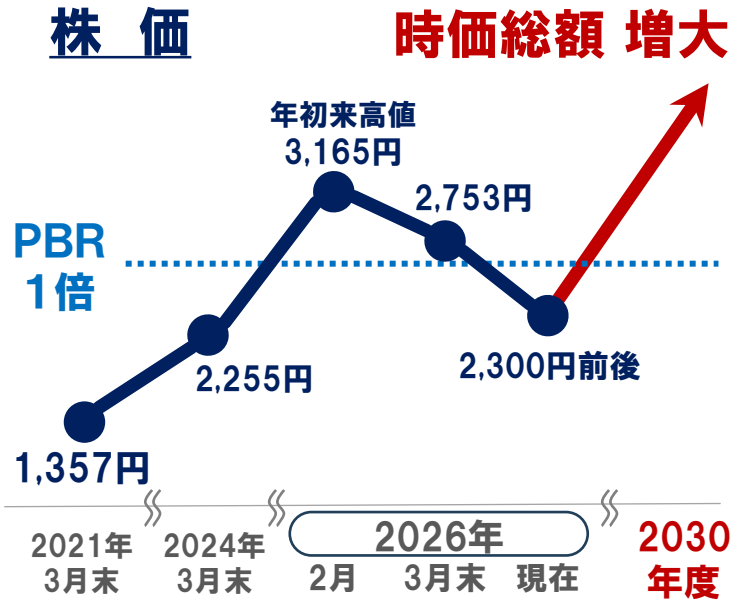
2030年の売上と株価を見据えた経営

トーヨーカネツ

売上高



株　価



企業価値の向上を株価へ

●事業成長によるファンダメンタルの向上

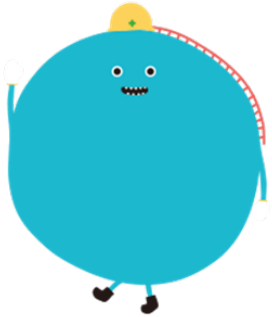
- ➢2030年度目標に向けた**収益力の向上**
- ➢事業成長を加速させる**アライアンス・M&A**
- ➢更なる**資本効率の強化**(ROE・ROIC向上)

●株式市場への働きかけ

- ➢PBR1倍超の回復とROE改善で時価総額増大
- ➢様々なTSR(株価と配当)向上の取組み
  機動的判断に基づくコーポレートアクションの実施
  ※20億円規模の自社株式取得(2026年7-9月)
- ➢国内外機関、個人投資家との対話拡大
  ※海外IR実績：ロンドン・エンジンバラ・ニューヨーク・シカゴ・ボストン・香港・シンガポールほか
  ※国内IR実績：東京・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡（7大都市）＋横浜、山形、丹波、富山、阿南ほか

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

横浜スタジアム
バックネット



Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

当資料に関するお問い合わせ先

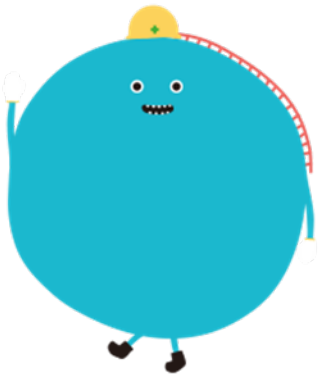
トーヨーカネツ株式会社

経理部　IRグループ

TEL:03-5857-3333　FAX:03-5857-3170

https://www.toyokanetsu.co.jp/

コード番号:6369　東証プライム



注意事項

本資料に記載されている計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、種々の前提に基づき策定したものであり、将来の業績等を保証するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。

Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.